

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	株式会社オプテージ	本社所在地	大阪府
業種	情報通信業	総従業員数	3,375名
事業概要	電気通信事業、有線一般放送事業、小売電気事業、情報システム、電気通信ならびに放送に関するシステム開発、運用、保守業務の受託		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則、在宅勤務規定
テレワーク担当部署	人事労務部
テレワーク対象者	量販店における営業販売職(eoスタッフ)を除く全従業員
実施者数	2,660名
平均実施日数	月4回以上8回未満程度(概ね週1~2回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 大規模災害等の緊急時、円滑な事業継続を目的とし、2013年に在宅勤務制度を導入。
- その後、育児や介護と仕事の両立支援を目的とし、2016年に在宅勤務の適用範囲を拡大。
- 2020年に新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とし、従来制度上の緊急時扱いを適用し一時的に全従業員に拡大し運用。
- 以降、ワークライフバランスの充実や多様な働き方による生産性向上を狙いとし、恒常的に全従業員が利用できる在宅勤務を制度化。

テレワークの概要・特徴

- 全従業員が平時に出勤時と同様の条件で利用できるスタンダード在宅勤務、育児や介護を中心としたコア無しフレックスが適用されるライフサポート在宅勤務、用途に合わせた2種の在宅勤務を常設している。
- 在宅勤務の利用は、USBシンククライアントを中心に利用。
- PCが無い社員にはPCレンタル、通信環境が無い社員には社給スマホテザリング等、全従業員が利用できる環境作りを行っている。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 場所に囚われない働き方の実現により、多様で柔軟な働き方がこれまで以上に全社的に推進。
- 大多数の従業員が在宅勤務によるメリットを実感。(全社的なアンケート結果より)
 - ・ 自宅で集中して作業することによる作業効率の向上、時間外労働の低減
 - ・ 家族と過ごす時間が増えることでのプライベートの充実
 - ・ 育児や介護等時間的制約がある中での家庭と仕事の両立
 - ・ 通勤時間削減に伴う疲労の軽減、睡眠時間の増加
 - ・ 在宅環境下に適合した業務改善やペーパーレス化の加速化